

平成28年度社会福祉法人あゆみの会事業計画書

1. 保育所について

(1) 鶴ヶ岡すまいる保育園の開所

平成23年4月、伊佐沼すまいる保育園（以下「伊佐沼」という）が開所、平成27年4月にはふじみ野市に「三丁目すまいる保育園」（以下「三丁目」という）、平成28年4月にはふじみ野市において鶴ヶ岡すまいる保育園が開所した。

1) 施設等の概要

| | | 定員 | 特色 |
|------------|------|------|--------------------|
| 本部 | 川越 | | |
| 伊佐沼すまいる保育園 | 川越 | 60名 | 自然に囲まれた発達支援のモデル園 |
| 三丁目すまいる保育園 | ふじみ野 | 60名 | 0・1・2歳児の乳児専門の認可保育園 |
| 鶴ヶ岡すまいる保育園 | ふじみ野 | 102名 | 市立鶴ヶ岡の代替園 |

2) 平成28年度の各施設の課題

イ) 伊佐沼すまいる保育園

自然環境には恵まれている反面、立地が街中ではなく、中長期的に定員を確保していくために「選ばれる園」として、優良な保育を実践していく。姉妹園の母園として各園へ人財を派遣できるよう職員に育成に努めていく。

ロ) 三丁目すまいる保育園

0～2才の乳児専門の保育園として、乳児の発達支援に関するスキルを高めていく。在園児保護者の心配を払拭するため、卒園後の連携施設を確保していく。街中に在る保育園であり、地域の連携を深め園に対する理解を深めていく。

ハ) 鶴ヶ岡すまいる保育園

市立鶴ヶ岡すまいる保育園の閉所に伴う代替園として設置された経緯があるため、旧鶴ヶ岡保育所より多くの児童が入園する。当初、公立園からの移行に伴う戸惑いも予想される。

保護者・子ども達が円滑に移行できるよう、保護者会との意思疎通を十分に図っていく。

2. 平成28年度計画について

(1) 本部

1) 制度改定に伴う準備

社会福祉法人の制度改革を踏まえ、行政のガイダンスに従い、評議委員会等の整備や地域活動、資産の有効活用案を検討していく。

定款変更他、制度改正の手続を進めていく。

2) 施設 3園の相乗効果を図る

*会計の合理化

三拠点の中心に位置する三丁目すまいる保育園の事務室を事務の拠点とする。

*人事・育成

保育士の確保及び人材育成

ハローワーク、養成校との連携を深め、積極的に求人を行う。

常勤6名程度（各施設2名）

各園月一回の内部研修に加え、定期的に外部の講師等を招き、3園の合同研修を行う。

保育士の自己評価シート、安全や環境に関する各種チェックシート・マニュアルを使用し、各園の標準化を図る。

下半期より、各園のOJT交流を進め、保育の質を向上する。

*総務

庶務（納税、社保、年金、文書・情報・資産等の管理、広報他）

*情報の共有

各施設間での情報共有を進めるため、クラウドを導入しデータを共有する

(2) 各施設の計画

1) 伊佐沼すまいる保育園

○ 保育について

本年度もGT園として保育指針を基本に「見守る保育」を進めていく。「本が大好きな子」をテーマに絵本の読み聞かせや絵本の蔵書の充実を図っていく。本年度も引き続き、自然環境を活かし「好奇心」「判断力」「思いやり」を育てていく。保育参加・懇談会を軸に保護者との関係を強化する。イベント等を通じ地域・卒園生との交流を深めていく。

○ 運営について

伊佐沼すまいる保育園を「見守る保育」の養成園とする。

- ・リーダー保育士の育成、新園からの研修生の受入

2) 三丁目すまいる保育園

○ 連携施設について

三丁目すまいる保育園の保護者は、卒園後の保育の保障を懸念してい

る。入園希望者や在園児に安心してもらうには、卒園後の進路についてある程度の道筋をつけることが重要である。行政と連携し、市内の公立・私立保育園を連携施設として契約する。

○ 地域との信頼強化

清掃や行事などに積極的に参加する。園行事を地域に開放し交流の場を増やしていく。

3) 鶴ヶ岡すまいる保育園

○ 公立園からの移行

保育指針を基本に、保育者に対し、保育内容や活動の狙いを丁寧に説明していく。旧園からのよさこい等の地域行事については、しっかりと継承していく。

○ 園舎・職員の慣熟

公立園、新入職員、伊佐沼すまいる保育園、三丁目すまいる保育園からそれぞれの文化をもった職員が集まるため、職員の気持ちを融合していくことが大切である。研修や話し合いを大切に、指針に沿った保育を進めていくこととする。

3. その他

現在、社会福祉法人について制度改革が進んでいる。今後、より一層の透明化と資産の有効活用等を求められる。本法人としては、社会福祉の増進のため、保育所以外の社会福祉法人の事業についても、しっかりと検討しニーズの高いものについては事業化を検討していく。

